

## 第3次大綱案パブリックコメント意見一覧（問1）

人生のうちで働く期間が延びている中、激しく変化し予測困難な時代に適応していくため、第3次大綱案では若い世代からの「大人の学び直し」（リカレント教育・問1 リスキリング等）についても積極的に取り組んでいこうと考えています。このことについてどのように思いますか。

①よいと思う ②どちらかといえばよいと思う ③どちらかといえばよいと思わない ④よいと思わない ⑤わからない

No.	選択肢	理由	本市の考え方
1	①よいと思う	趣味友達など、新たな出会いの可能性があり、人との繋がりは人生を豊かにするから。	ご賛同いただき、ありがとうございます。 第3次大綱では、学びを通じた市民同士の出会いや交流を推進する視点を持って、施策を進めていきます。 ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。
2	①よいと思う	人生のうちで働く期間が延びている中、激しく変化し予測困難な時代に適応していく必要があると思うため	ご賛同いただき、ありがとうございます。 第3次大綱では、激しく変化し予測困難な時代に適応するために必要な「大人の学び直し」について、その大切さの周知や魅力ある学習機会を提供していきます。 ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。
3	①よいと思う	生涯学習という言葉は、子どもから高齢者まで、いくつになっても学び続けることができる社会環境が必要との考えから、それを実現するために生まれた言葉だと思います。その点から新大綱でいわゆる現役世代に目を向け、若い世代からの学び直しに力を入れていくことは良いことだと思います。	ご賛同いただき、ありがとうございます。 第3次大綱では、これからの人生100年時代に向けて、学校や仕事、家事、育児等で忙しい世代にも「大人の学び直し」が必要だと考え、その大切さの周知や魅力ある学習機会の機会を提供していきます。 ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。
4	①よいと思う	時代は常に変わるので、新しい知識を常に取得し続けることが大事だと考えるから。	ご賛同いただき、ありがとうございます。 第3次大綱では、激しく変化し予測困難な時代に適応するために必要な「大人の学び直し」について、その大切さの周知や魅力ある学習機会を提供していきます。 ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。
5	①よいと思う	若い世代にも生涯教育をしたい人はいると思うから。	ご賛同いただき、ありがとうございます。 第3次大綱では、「学びたい」と思っている市民が学ぶことができるよう、年代や生活様式などに合わせたテーマや内容の学習機会を提供したり、リモート形式などの学習形態も取り入れたりしていきます。 ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。
6	①よいと思う	予測困難であるのは確かであることと、学習者の対象を高齢者に絞る利点で薄いこと。	ご賛同いただき、ありがとうございます。 第3次大綱では、幅広い世代の市民が学ぶことができるよう、年代や生活様式などに合わせたテーマや内容の学習機会を提供したり、リモート形式などの学習形態も取り入れたりしていきます。 ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。
7	①よいと思う	社会人になっても必要なスキル等は日々変化していくため、学習の機会を設けるのは良いことと思う。	ご賛同いただき、ありがとうございます。 第3次大綱では、激しく変化し予測困難な時代に適応するために必要な「大人の学び直し」について、その大切さの周知や魅力ある学習機会を提供していきます。 ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。
8	①よいと思う	若い世代に対するサービスの提供をもっと増やすべきだと思うから	ご賛同いただき、ありがとうございます。 第3次大綱では、年代や生活様式などに合わせたテーマや内容の学習機会を提供したり、オンラインやオンデマンドなどの学習形態や、キャッシュレス決済などの施設の利用手続きなどの導入を検討するなど、若い世代にも魅力的な学習機会や使いやすい施設整備を進めていきます。 ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。
9	①よいと思う	終身雇用制が崩壊し、産業構造が変革しつつある現代においては、一つの職業を生涯にわたって維持していくことが難しくなっていくと考えられる。また、人生百年時代と言われる超高齢化社会においては、退職後の再雇用、再就職が必須となりつつあり、生涯にわたって知識やスキルの習得が必要になると思われるから。	ご賛同いただき、ありがとうございます。 第3次大綱では、激しく変化し予測困難な時代に適応するために必要な「大人の学び直し」について、その大切さの周知や魅力ある学習機会を提供していきます。 ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。

10	①よいと思う	時代の変化の中で働くためには、その変化を認識しその変化に合わせた新しい知識と技術が求められます。そのための学びの場を市が提供することは、学ぶ個人にとっても社会にとっても有意義なことだからです。特に、若い世代の人は働く期間が長いので変化の幅が大きいことが予想されます。変化に合わせて常に学び直す必要があります。よって、若い世代からの学び直しの取り組みに賛成します。	ご賛同いただき、ありがとうございます。 第3次大綱では、激しく変化し予測困難な時代に適応するために必要な「大人の学び直し」について、その大切さの周知や魅力ある学習機会を提供していきます。 ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。
11	①よいと思う	人生100年時代となり、定年も延びていくため、必要だと思う。	ご賛同いただき、ありがとうございます。 第3次大綱では、激しく変化し予測困難な時代に適応するために必要な「大人の学び直し」について、その大切さの周知や魅力ある学習機会を提供していきます。 ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。
12	①よいと思う	生涯学習というと老後の余暇の一部のようなイメージがあった。生涯学習施設の7割は60歳以上となっており、若い世代の中には施設があることすら知らない人も多いと思う。若い世代の人は、施設があることを知っていても同世代がいらないから利用するのが恥ずかしかったり、生涯学習はまだ自分の世代には関係のない話だと思ったりして、生涯学習から距離を置いてしまっているのではないかと思う。若い世代からの大人の学び直しに焦点を当ててもらえると、自分のこととして考えやすいし、生涯学習を始めるきっかけになると思うから、ぜひ取り組んでほしい。	ご賛同いただき、ありがとうございます。 第3次大綱では、激しく変化し予測困難な時代に適応するために必要な「大人の学び直し」について、その大切さの周知や魅力ある学習機会を提供していきます。 また、年代や生活様式などに合わせたテーマや内容の学習機会を提供したり、オンラインやオンデマンドなどの学習形態や、キャッシュレス決済などの施設の利用手続きなどの導入を検討するなど、若い世代にも魅力的な学習機会や使いやすい施設整備を進めていきます。 ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。
13	①よいと思う		ご賛同いただき、ありがとうございます。 ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。
14	①よいと思う	人生のうちで働く期間が延びている中、激しく変化し予測困難な時代に適応していくため、第3次大綱案では若い世代からの「大人の学び直し」（リカレント教育・リスキリング等）についても積極的に取り組んでいこうと考えています。このことについてその通りだと思い、①と回答しましたが「激しく変化し予測困難な時代に適応していくため」あたりですが「学習しないと生き残れないよ」みたいな、大げさに言うとやや脅迫めいた言い回しが気になることです。 『生涯学習』って、必要に迫られてやるのではなく、勉強することや体力作りを楽しむからやるのではないのでしょうか？社会の変化のために必要だから、ではないような気がします。 例えば、最近新聞等にも出てくる文字の「リスキリング」（なんでもカタカナはよくない）にしても、企業がスキルを再教育させようと受講させてもほとんど身にはつかないと思います。 わが社でも最近では、必要と思われるzoom講習を受けさせてはいますが、効果はそれほどでもない感じがします。	ご賛同いただき、ありがとうございます。 ご意見のように、学びを楽しみながら、自分らしさを育て、より豊かな人生を送ることは誰もが持つ権利であり、生涯学習の基本となりますが、第3次大綱では、激しく変化し予測困難な時代に適応するための学びも、より豊かな人生を送るための学びの1つと考えています。文章の表現については検討させていただきます。 ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。
15	①よいと思う	学ぶことで、仲間や自己肯定感が高まるから	ご賛同いただき、ありがとうございます。 第3次大綱では、学びを通じた人と人とのつながりや居場所、他者からの承認、人間的成長や自己実現を得ることができるよう、第3次大綱では学習機会や活動支援を充実していきます。 ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。
16	①よいと思う	人生100年時代、これまでにない経済・社会の変化に対応するためには、若い世代から高齢者まで「学び直し」は誰もが必要であり、企業・事業者など職場における「学び直し」も重要であると考えます。	ご賛同いただき、ありがとうございます。 第3次大綱では、激しく変化し予測困難な時代に適応するために必要な「大人の学び直し」について、その大切さの周知や魅力ある学習機会を提供していきます。 また、行政だけでなく、企業や高等教育機関、NPO等が連携した「学ぶ」「活かす」環境をつくるために、連携体制づくりを進めていきます。 ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。

17	①よいと思う	<p>戦後の日本経済の変遷をみても、高度成長期から安定成長へ、バブル経済の崩壊、その後の長期の経済の停滞と下降線をたどり、将来も大きな発展は見込めません。その一方で、少子高齢化や人口減少が進み、情報技術も急速に進展し、私たちの暮らし方や働き方も大きく変わり、価値観の多様化も進んでいます。</p> <p>従来のように、学校を出たら就職してそのまま定年まで働き、退職後は年金でゆっくり暮らすというスタイルでは、豊かな人生を実感することはもうすでにできなくなっています。さまざまな個性や価値観を持つ個人がそれぞれの人生のそれぞれの節目で自分の可能性を広げ夢や希望を実現させること、それによってこそ人生において幸福感や満足感を得ることができるのだと思います。</p> <p>それは個人の人生ではあるけれど、そうした個人、市民が増えれば増えるほど、その地域は暮らしやすくなり、幸福感満足感が得られ、活力にあふれた地域となり、そして持続可能な社会づくりにつながると考えられます。</p> <p>ただ、リカレント教育と一口に言っても幅が広く分野も多岐に渡り、高度な専門的知識を身につけることになるので、実施主体や費用負担などの面で課題が多く、関係する国や自治体の部署や機関、企業、大学、各種学校などと連携や事業の棲み分けみたいなのも必要になるのかと想像します。</p> <p>これは日本の社会全体で取り組む必要のある大きな課題であると思いますが、自治体としても積極的に取り組むことで地域・市民の活力を育む重要な取り組みであると思います。</p>	<p>ご賛同いただき、ありがとうございます。</p> <p>第3次大綱では、激しく変化し予測困難な時代に適応するために必要な「大人の学び直し」について、その大切さの周知や魅力ある学習機会を提供していきます。</p> <p>また、「学ぶことで、豊かなわたしになります」「わたしの学びを、みんなの学びにつなげます」「みんなの学びを活かして、豊かなまちを創ります」という3つの基本的な指針を立て、個人の学びから静岡市全体が豊かになるよう、生涯学習を推進していきます。</p> <p>「大人の学び直し」に限らず、行政や企業、高等教育機関、NPO等と連携した「学ぶ」「活かす」環境や、魅力的な学習機会をつくるために、連携体制づくりを進めていきます。</p> <p>ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。</p>
18	①よいと思う	<p>自分たちが学校で学んだ時と違った分野の学びに関して学び直しができたり、人生を歩んできたからこそより深く理解ができる事柄があるように思います。今だからこそ学びたいことがたくさんあるように感じます。</p>	<p>ご賛同いただき、ありがとうございます。</p> <p>第3次大綱では、学びを通じた人と人とのつながりや居場所、他者からの承認、人間的成長や自己実現を得ることができるよう、第3次大綱では学習機会や活動支援を充実していきます。</p> <p>ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。</p>
19	①よいと思う	<p>とても良い事だと思います。学生時代に身に付けた知識とは違った新しい知識やスキルを身につける事で考え方の幅が広がります。また、社会に出てからの経験もプラスされ、より深い学びへと繋がると思います。様々な年代の人たちとのコミュニケーションもとれるので多方面からの意見を聞いたり考え方を知る事が出来る場となるのではないのでしょうか。</p>	<p>ご賛同いただき、ありがとうございます。</p> <p>第3次大綱では、激しく変化し予測困難な時代に適応するために必要な「大人の学び直し」について、その大切さの周知や魅力ある学習機会を提供していくとともに、対話や交流を通じたさらなる学びについても施策を進めていきます。</p> <p>ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。</p>
20	①よいと思う	<p>人生100年時代と言われ、リカレント教育やリスク教育という言葉をよく聞くようになりました。コロナ禍で働き方が変化したり、多様な生き方や働き方が求められるこれからの社会に今回の第3次大綱案はとても合っているように感じました。</p> <p>また「ワタシゴトをアップデート！」という市の新しい言葉がキャッチーで、印象に残り、関心を持って、とても良いと思いました。</p>	<p>ご賛同いただき、ありがとうございます。</p> <p>第3次大綱では、激しく変化し予測困難な時代に適応するために必要な「大人の学び直し」について、その大切さの周知や魅力ある学習機会を提供していきます。</p> <p>また、キャッチコピー等によって従来の「高齢者向け」「余暇的活動」というイメージから離れた、幅広い学びのイメージを広く伝えていきます。</p> <p>ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。</p>
21	①よいと思う	<p>「生涯学習は老後の、あるいは退職後の楽しみ」といった従来の概念は棄てていくべき時代だと思います。0才から亡くなるまでの年齢の方が自由に来館して学べるはずの生涯学習施設も、実情は高齢者が一番多く利用しています。現役世代のリスクの需要に応えられるような講座を企画・運営していく等、施設側にも求められている課題が大きいです。</p>	<p>ご賛同いただき、ありがとうございます。</p> <p>第3次大綱では、キャッチコピー等によって従来の「高齢者向け」「余暇的活動」というイメージから離れた、幅広い学びのイメージを広く伝えていきます。</p> <p>また、生涯学習施設を始めとした身近な公共施設においては、初心者向けの講座を中心に学習機会を提供し、より高度な学びを提供する高等教育機関や国・県の機関に繋いでいきます。</p> <p>ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。</p>
22	①よいと思う	<p>身近な場で、新しいことが学べ、地域との交流もできるから。</p>	<p>ご賛同いただき、ありがとうございます。</p> <p>第3次大綱では、生涯学習施設を中心に「大人の学び直し」を推進する学習機会を提供するとともに、地域の拠点として学習を通して地域交流の場となるように取り組んでいきたいと思っています。</p> <p>ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。</p>
23	①よいと思う	<p>学び直しをしたいと思っても、どのような所でできるのかわからず、そのまま生活している方も多くいると思います。自宅近くや勤め先の近くで学び直しができる所があれば、気軽にできるし、自分では思いつかなかったスキルを学ぶきっかけにもなると思います。</p>	<p>ご賛同いただき、ありがとうございます。</p> <p>第3次大綱では、生涯学習施設を中心に「大人の学び直し」を推進する学習機会を提供するとともに、「学びたい」と思っている市民が必要や情報を得られるよう、SNS等も活用しながら学びに関する情報を効果的に発信します。</p> <p>ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。</p>

24	①よいと思う	誰もが日々何かしらの学びがあると意識していないだけである。学ぶことを意識することがより効果的な自己啓発、社会貢献につながると思う。学びを意識することは学校教育における学びの経験が新鮮であるほど習慣として継続しやすく、若い世代ほど取り組みやすいと考える。	ご賛同いただき、ありがとうございます。 多くの人が学校教育において学びの姿勢や習慣を身に付けていきますが、第3次大綱では、学校教育を終えてからの学びの大切さを広く市民に伝え、生涯を通じて学び続ける意識の醸成を図ります。ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。
25	①よいと思う	コロナが蔓延していた数年前に学生だった世代は、以前の世代とは違った学習環境で過ごしてきたと考えられます。それによって新しい学び方による新しい発想なども培われてきたのかもしれませんが。彼らが彼ら以前の世代と一緒に、現代社会の課題について「大人の学び直し」を行うことで、新しいアイデアなどが生まれることを期待したい。	ご賛同いただき、ありがとうございます。 ご意見のように、学んだ成果や経験を他の人と共有することで、さらなる学びにつながると考えられます。第3次大綱では、まなだ成果の発表や共有の機会など、対話や地域交流を促進していきます。ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。
26	①よいと思う	人生100年時代を生き抜くために、仕事、プライベート問わず、学ぶ習慣が必要であると考えているため。	ご賛同いただき、ありがとうございます。 多くの人が学校教育において学びの姿勢や習慣を身に付けていきますが、第3次大綱では、学校教育を終えてからの学びの大切さを広く市民に伝え、生涯を通じて学び続ける意識の醸成を図ります。ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。
27	①よいと思う	全年代の学習人口を増やすには、全年代で学習者が必要であり、若者の「大人の学び直し」が少ないのであれば、この方針は妥当である。	ご賛同いただき、ありがとうございます。 多くの人が学校教育において学びの姿勢や習慣を身に付けていきますが、第3次大綱では、学校教育を終えてからの学びの大切さを広く市民に伝え、生涯を通じて学び続ける意識の醸成を図ります。ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。
28	①よいと思う	・"若い世代から"の学びが大変重要だと実感しています。(自身67歳) ・現役を退いてからの自身が向かう方向性を見出すのに遅かった。 ・現在、私はアルバイト以外に自治会活動を中心に青少年育成支援に携わっていますが、もっと早くから、若いうちから関心、勉強(学校教育上・社会教育)を受けておけばよかったと思っています。 ・今は、セッティング側に重きを置きながらも、遅いとは思いますが受ける側としても活動していきたい。	ご賛同いただき、ありがとうございます。 多くの人が学校教育において学びの姿勢や習慣を身に付けていきますが、第3次大綱では、学校教育を終えてからの学びの大切さを広く市民に伝え、生涯を通じて学び続ける意識の醸成を図ります。ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。
29	②どちらかといえばよいと思う	これからの社会に適応していくために「大人の学び直し」は必要だと思いますが、これまでの生涯学習施設が担っていた高齢者の生きがい・居場所づくりとしての役割も大切かと思っています。(他市の話ではありますが)自身の祖母は祖父に先立たれてから目に見えて意気消沈してしまいましたが、友達や近所の人たちと生涯学習施設での生きがい活動に参加してからは元気になりました。ほかにこういう方がいますので、既存の役割を損なうことなく運営していただければと思います。	ご賛同いただき、ありがとうございます。 第3次大綱では、生涯学習施設の地域の交流の場としての機能強化や、学習を通じた市民同士の交流の促進など、学びを通じた市民相互の交流を推進することを、「施策を進めるうえで大事にしたい視点」の1つとして、これまでの生涯学習施設が担っていた生きがい・居場所づくりとしての役割についても大事にしていきます。ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。
30	②どちらかといえばよいと思う	予測できない時代の変化に対応するため、その時々々の社会ニーズに合わせた学びができるようにすることはよいと思います。 ただ、大人の学び直しは経済的なニーズへの対応という側面が主だと思いますので、その他の部分についてもどのように推進していくが見えると良いと思いました。	ご賛同いただき、ありがとうございます。 推進計画の作成にあたっては、「大人の学び直し」以外の生涯学習についてどのように推進していくのかわかるようにしていきます。ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。
31	②どちらかといえばよいと思う	大人になっても学ぶ姿勢があった方がいいことは間違いありません。ですが、我々世代が生涯学習センターなどで何かを学ぼうという機会はほとんどありません。回覧板や地域の無料情報紙を見ても、行ってみたいなどというものはありません。一度、NHK連続テレビ小説「あまちゃん」をやっていた時に、有度交流館で「まめぶ汁作りませんか？」という企画に参加しましたが、やはりご年配の方がほとんどでした(平日の昼間ですから仕方ないですが)なのでオンラインの講座というのはいいかもかもしれませんね。やるならライブでなくストリーミングでお願いしたいです。	ご賛同いただき、ありがとうございます。 第3次大綱では、年代や生活様式などに合わせたテーマや内容の学習機会を提供したり、オンラインやオンデマンドなどの学習形態や、キャッシュレス決済などの施設の利用手続きなどの導入を検討したり、若い世代にも魅力的な学習機会や使いやすい施設整備を進めていきます。ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。
32	②どちらかといえばよいと思う	子育てが終わって自分の学びをしようと思う時期がおそくなっていると思います。昔にくらべて結婚がおそくなっているので。 静岡の場合、最低賃金も低い、主婦のパート代も900円前後。生活によろがないと学び直しをしようという意識も低くなります。その所がクリアーできて学べる環境にしないとイケないと思います。	ご賛同いただき、ありがとうございます。 第3次大綱では、激しく変化し予測困難な時代に適応するために必要な「大人の学び直し」について、その大切さの周知や魅力ある学習機会を提供していきます。ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。

33	②どちらかといえばよいと思う	大人の学び直しについては、人生を豊かにするために必要なことですし、「若い世代から」積極的に取り組むということも重要だと思います。今回、第二次大綱の理念や基本的方針は継承されるということですので、「学んだ成果を活かし、ともにまちを創っていく」という理念と「大人の学び直し」がどのように連動していくのか、イメージが湧きませんでした。	ご賛同いただき、ありがとうございます。 第3次大綱における「大人の学び直し」の位置づけについて、体系図などを用いてイメージしやすく、表現を工夫いたします。 ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。
34	②どちらかといえばよいと思う	・年々生きづらい時代となっている中、未来を担う若い世代への学びの機会の提供は、大切だと思います。 ・一方で、私たち高齢者が過程の中にもったままにならないよう、地域や仲間との関わりを持つ場としての生涯学習施設の機能も残していただくようお願いしたいです。	ご賛同いただき、ありがとうございます。 第3次大綱では、生涯学習施設の地域の交流の場としての機能強化や、学習を通じた市民同士の交流の促進など、学びを通じた市民相互の交流を推進することを、「施策を進めるうえで大事にしたい視点」の1つとして、これまでの生涯学習施設が担っていた生きがい・居場所づくりとしての役割についても大事にしていきます。 ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。
35	③どちらかといえばよいと思わない	人生100年時代で、働く期間もながくなりまた転職をしてスキルアップすることも多くなる現状で、職業に関わる学びを提供していくことは大切だと思うが、提供する例にその能力があるのか疑問である。現状、生涯学習館利用は、高齢者が中心であり趣味的なものが多い。その中で若い世代を取り込んでいくのはむしろかしいし、それは個人的に民間の専門機関を利用し、学ぶべきだと思う。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 生涯学習施設を始めとした身近な公共施設においては、初心者向けの講座を中心に学習機会を提供し、より高度な学びを提供する高等教育機関や国・県の機関、産業支援施設などに繋いでいきます。 ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。
36	③どちらかといえばよいと思わない	若い人を前面にだしてしまうと、高齢者が利用しにくくなる。特に、今の高齢者は、他の人に遠慮してしまう方が多く、最終的に利用しなくなってしまうと思う。高齢者の居場所（こういうところでお話したり交流する）を、奪うことになるのでは？	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 第3次大綱では、生涯学習施設の地域の交流の場としての機能強化や、学習を通じた市民同士の交流の促進など、学びを通じた市民相互の交流を推進することを、「施策を進めるうえで大事にしたい視点」の1つとして、これまでの生涯学習施設が担っていた生きがい・居場所づくりとしての役割についても大事にしていきます。 ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。
37	③どちらかといえばよいと思わない	言葉だけが踊っている様に思われる。 片仮名が多すぎる。 キャッチコピーを考える必要がある。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 表現について、誰もが読みやすく、わかりやすい表現に配慮いたします。「リカレント教育」や「リスキリング」のような言い換えの難しい言葉については、図などを用いて言葉の意味が理解しやすくなるよう工夫いたします。 ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。
38	③どちらかといえばよいと思わない	第3次大綱では、「若い世代」の生涯学習についても積極的に取り組んでいくという事を追加したいと読み取れるが、「大人の学び直し」は若い世代だけが必要としているものではないと思う。また、仕事を持っている年代が学習するには、土日夜間の学習等が主となると思われる。例えば20代30代は子育てや転職を思案したり、40代は働き盛り、50代は第二の人生を考えていたり環境は十人十色である。「若い世代」に限らず、例えば働いている年代へのICTを活用したオンライン形式の多彩な学習の提供等に期待する。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 ご意見のとおり、世代（年齢）で市民の属性を括ることは難しい社会になってきていますので、「若い世代」という表現を使わないように検討いたします。 ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。
39	⑤わからない	「若い世代（から）の『大人の学び直し』を含めた幅広い学び」という言葉が使われていますが、意味するものが分かりません。大人を経験していない若い世代が、「大人の学び直し」をできるはずはありません。 また、生涯学習施設はリスキリングを支援する組織となっているのでしょうか。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 「若い世代（から）の『大人の学び直し』を含めた幅広い学び」については、学校教育を終えて社会に出てからの学びのことを想定しています。しかし、世代（年齢）で市民の属性を括ることは難しい社会になってきていますので、「若い世代」という表現を使わないように検討いたします。 生涯学習施設では、様々な学習機会の提供の中で、「大人の学び直し」に関する学習機会についても提供していきます。 ご意見は今後の施策や事業検討の際の参考にさせていただきます。

## 第3次大綱案パブリックコメント意見一覧（問2）

問2 基本構想案について、ご意見や、期待することなどをご自由にお書きください。

No.	項目	市民意見・質問内容（問2）	本市の考え方
1	全体	<p>全体の構成すなわち「はじめに」「第1章」「第2章」および各項目は過去の経緯を踏まえて今回の案が提示される理由が明確で理解できました。その中で特に第2章Ⅰ.～Ⅳ.の項目立ては起承転結が明確であり基本構想の概要をわかりやすく表記しています。各項目の内容は簡潔でわかりやすく納得できる説明です。各図はそれぞれの説明文を補完する上で見やすく作成されています。</p> <p>一方で、基本構想なので理念の記載であり具体性に欠けるのは致し方ないのかもしれませんが、ある程度の具体的内容を加えれば基本構想がイメージしやすくなると考えます。その理由は次の通りです。「第3次静岡市生涯学習推進大綱パブリックコメント概要版（案）R4.9.1」の2ページ目右半分にある「施策」および「具体的な事業」の記載はこの基本構想で推進しようとしていることがよくわかるからです。「概要版」に記載されているので、大綱の基本構想本文にその一部を記載してもよいのではないのでしょうか。</p>	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>第3次大綱の中で推進していく施策については、推進計画の中で記載していきます。</p> <p>ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。</p>
2	全体	<p>総論：人生100年時代といわれ、人々は長い人生を歩み、マルチステージ化へと進展していく昨今、仕事に関する知識のみならず、趣味やスポーツ活動など自分磨きをするための「学び・（生涯学習）」が求められています。また、その「学び」は、自己完結ではなく、多くの人とつながりをもつことで有意義なものとなり、様々な地域の課題に対応できる力を生み出すと考えられています。</p> <p>今後、3つの基本的な指針のもと、ポストコロナなど、これまで経験したことのない社会変化にも対応し、「学び」を中心に、「自己学習」、「相互学習」、「参加・活動」、「自己実現」のサイクルと基盤づくりを進めていく本構想は、簡潔に本市の生涯学習の方向性を示されていることから、推進8年間の前期・後期推進計画による施策や事業に大いに期待するところです。</p>	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>「だれもが、いつでも、どこでも学び、学んだ成果を活かすことのできるまち」を目指し、本市の生涯学習を推進していきます。</p> <p>ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。</p>
3	全体	<p>P3の●基本構想の文章：生涯学習は市民が主体と考えますが、記述は行政、次に市民となっています。構想は行政が主体で何をするのかという趣旨のもと作られているため、市民は2番手になっているのでしょうか。</p>	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>ご意見のとおり、生涯学習は市民が主体となって行うものですが、第3次大綱は、生涯学習の推進に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための指針として、本市（行政）が策定するものですので、主体の1番手に「行政」を置いています。</p> <p>ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。</p>
4	全体	<p>第3次静岡市障害学習推進大綱基本構想（案）を読んだ感想です。生涯学習ってなんだろうと、改めて考えてみました。</p> <p>「Ⅰ. 生涯学習ってなんだろう」には、「生涯学習」とは、お茶や将棋、スポーツ、絵画鑑賞などの余暇活動からの知識習得のためのための読書や動画視聴、スキルアップのための資格取得まで、私たちの暮らしの中には多くの「学び」があり、人生のあらゆるステージで「学び」継続することで喜びを感じ、人とつながり、地域とつながり、自分らしさを育てより豊かな人生を築くことなのだと、そしてこれは誰もが持つ権利なのだと書かれています。</p> <p>「生涯学習」とは、子どもから高齢者、個人的なものから社会的なものまで、生きることに全てに関係するとても広くて大きな概念なのだと思います。それぞれ人生観のようなものかもしれません。料理の好きな人が、より美味しい料理を作るために工夫をしたり料理本を読んだりするのも生涯学習であるといえるかと思えます。釣り好きの人が魚の種類や生態、釣りの道具を揃えたりするのも同じ。子どもが学校で勉強するのも、仕事で企画書を作るために調べ物をするのも、何から何まで「生涯学習」と言ってしまうかもしれません。</p> <p>そのように「生涯学習」を捉えると、「生涯学習を行なっている人」というのは、ほとんどすべての人ということになるのかもしれませんが。「はじめに」で述べられている「生涯学習」のイメージはそうしたのですが、第1章 大綱策定にあたって、「第2章 基本構想」のそれぞれで使われている「生涯学習」の意味あいはいまだ違ったものとなっているように感じます。</p> <p>生涯学習推進大綱は、静岡市生涯学習審議会の答申に沿って、静岡市の区役所や関</p>	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>第3次大綱における「生涯学習」の全体像を図解化し示すなど、読み手にわかりやすい表現となるよう工夫いたします。</p> <p>ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。</p>

		<p>係部局等が実施している施策・事業を「生涯学習」の観点からとらえ直し、施策全体を体系的に整理して示し、効果的に推進するための計画書であると思います。第2章以降における「生涯学習」は静岡市が推進する施策や事業を中心とした「生涯学習」のことだと思われます。</p> <p>「生涯学習」に関連する事業としての教室や講座、研修会、勉強会などは国や県、民間企業、団体などでも行なっていますので、その違いを理解しない人が大綱を読むと混乱するかもしれません。「生涯学習」って何だかよくわからないね、ということになってしまうかもしれません。</p>	
5	全体	<p>「生涯学習の基本的な方向 基盤づくり」では、指針として3つを掲げていますが、キャッチコピー的な表現でいいとは思いますが、何となく市民の取り組み宣言みたいな感じにも取れますし、学んだことをまちづくりに繋げなければならないともとれますし、ハードルが高くなってしまふような感じもします。まちづくりは生涯学習の幅広い分野・領域のうちの一つではないかと思ひます。</p> <p>以上のように「生涯学習」について意外とわかりにくいものだなというような気もしましたので、「生涯学習」意味が子供から高齢者まですべての年代の市民にわかりやすく伝わるように、また、「生涯学習」を支援を支援する国や県、市、企業、団体など施策や事業をさまざまな媒体を使って伝えていただけると良いかなと思ひました。</p>	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>第3次大綱における「生涯学習」の全体像を図解化して示すなど、読み手にわかりやすい表現となるよう工夫いたします。</p> <p>また、生涯学習に関する情報を効果的に発信するよう取り組みます。</p> <p>ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。</p>
6	全体	<p>基本構想案についてはどういったことをしたいのか方向性はわかったが、生涯学習になじみがないため、具体例があるといいと思う。</p>	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>第3次大綱における「生涯学習」の全体像を図解化して示したり、具体的な活動の例を加えたり、読み手にわかりやすい表現となるよう工夫いたします。</p> <p>ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。</p>
7	全体	<p>A：「生涯学習」なんて言われなくても、進んで学習や体力作りを楽しんでいる人達  B：学び直しや体力作りに興味を持っていてやろうと思ひていても、後一歩が踏み出せない人達  C：そもそも勉強大嫌いで「生涯学習」なんて関係ないと思ひている人達</p> <p>を仮定して  Bの人達に「生涯学習」の事をもう少しわかりやすく伝えて、促してあげる事が大事かなと思ひました。</p> <p>例えば  市民が学んだことを職業生活や、地域、社会での活動に活かして……  具体例を示して、体験された方の生の声を聴ける機会も必要かなと思ひます。</p>	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>第3次大綱における「生涯学習」の全体像を図解化して示したり、具体的な活動の例を加えたり、読み手にわかりやすい表現となるよう工夫いたします。</p> <p>ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。</p>
8	全体	<p>これは他にないという”静岡らしい”内容を盛り込むよう希望する。  ～減災・防災、福祉、健康に係る事項</p>	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>本市では「まちづくりは人づくり」という考え方の基に、自ら学び、学んだことを活かして「自分のため」「みんなのため」に行動できる人が活躍できるよう、静岡の特色を活かした各課の人材養成講座をまとめた「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」を開校しています。第3次大綱ではリーディングプロジェクトとして「こ・こ・に」を推進していきます。</p> <p>ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。</p>
9	現状と課題	<p>概要版の2、現状と課題と基本構想案P7図4の中で「静岡市内の年代別の非労働力人口率」は、国勢調査の最終年度がH27年で8年前では少し古いと感じる。R元年にアップデートが必要では。また、概要版のほうでは70歳未満の非労働力人口率は減少傾向とあるが、75歳未満の間違ひでは？</p>	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>ご指摘いただいたように、国勢調査のデータが古いものとなっておりますので、最新のデータに変更いたします。また、文章表現について正しい内容となるよう修正いたします。</p> <p>ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。</p>
10	現状と課題	<p>基本構想案P6II、生涯学習の現状と課題の中で、学んだことを地域や社会での活動に活かしている市民の割合は減少しています（図3）。とあるが、H25～H30は増加している。減少しているのはH30年からである。また、国税調査によれば、静岡市の60歳以上の非労働力人口率が減少しています（図4）。と記載されているが75～70歳は1.5%増加しているが？</p>	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>ご指摘いただいた箇所の文章表現について正しい内容となるよう修正いたします。</p> <p>ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。</p>

11	現状と課題	概要版では第2次大綱の評価で生涯学習施設の耐震化率を記載しているが、基本構想案では特に記載はしないのか？	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 生涯学習施設における耐震化率は第2次大綱の中で成果指標の1つとして記載していましたが、計画期間内に100%を達成いたしましたので、第3次大綱では成果指標から除くことといたしました。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
12	現状と課題	概要版の課題の中の、(1)～新しい考え方やスキルなどを身に付けていく必要がある。(2)～生涯を通じて学び続ける必要がある。と断定しているが、市民側からすると基本構想案のように求められている。とか必要とされている。とした言い方のほうが受け入れやすいと思う。また、(1)の中の～特に仕事や就職活動など職業生活に関わる学びを提供していく必要がある。という文言は基本構想案の方には記載がないように思えるが特に記載しないのか？	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 ご指摘いただいた箇所の文章表現について正しい内容となるよう修正いたします。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
13	キャッチコピー	「ワタシゴト」というコンセプトはとても良いと思います。生涯学習施設で活動している認定団体等は「ワタシ」の好きな趣味を極めることに重点が置かれていて、「その成果を地域に還元する」というアップデートの部分がなかなか見られませんが、自分の暮らしをアップデートしながら地域も磨いていける人材を育成していけたらいいですね。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 「ワタシゴトをアップデート！」の中には、暮らしている地域のことを自分ごととして捉えてその課題を考え、「ワタシ」の住むまちをアップデートすることも含まれています。キャッチコピーに込めたイメージが正しく伝わるように、サブタイトルをつけ、デザインも工夫していきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
14	キャッチコピー	ご年齢の方だけでなく、30代、40代でもデジタル時代についていけない方は多くいると思います。現在は学校でICTを活用した教育が行われており、義務教育の中で学ぶことができますが、それ以外の若い世代にもデジタル社会に対応し、それを活用し、学び直しに活かせる基礎を身につけてもらえる機会だと思います。また、それをふまえて「ワタシゴトをアップデート！」でき、すばらしいと思います。地域の交流館をたくさんの方に活用してもらい、社会へ学んだことをいかしアップデートしていける取り組みで、とても期待しています。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 「だれもが」「いつでも」「どこでも」学び、活かすことができるよう、年代や生活様式などに合わせたテーマや内容の学習機会の提供など、テーマや対象者に合わせて事業を実施していきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
15	キャッチコピー	生涯学習は基本構想案の「はじめに」に記載されているとおり、学びを通して様々な「場所」で人と人が共に学びあうことです。生涯学習センターなどの公共施設は、積極的に全世代が平等に学ぶ機会を提供し、交流する場であるべきだと感じています。またコロナ禍で、人と人との交流が制限されたことで、人と人との交流の大切さも改めて認識しました。「学び」は「人と人の交流」に繋がります。基本構想案では第2章IIに記載くださっています。そのことが新しいキャッチコピーからイメージができませんでした。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 「だれもが」「いつでも」「どこでも」学び、活かすことができるよう、施策を進めるうえで大事にしたい視点の1つとして、学びを通じて市民相互の交流を推進していきます。 また、キャッチコピーに込めたイメージが正しく伝わるように、サブタイトルをつけ、デザインも工夫していきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
16	キャッチコピー	タイトルの「ワタシゴトをアップデート」ですが、タイトルから伝えたい推進大綱の中身とがイメージを共有しにくいと感じられました。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 キャッチコピーに込めたイメージが正しく伝わるように、サブタイトルをつけ、デザインも工夫していきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
17	キャッチコピー	キャッチコピー「ワタシゴトをアップデート！」のワタシゴトは造語であり、解説を読まないという意味が理解できず、個人的な事柄という意味である、「私事(わたくしごと)」という言葉のイメージで受け取られてしまう懸念がある。静岡市が目指す将来像は、「ワタシ」を超えてつながりや活動範囲を拡げ、学んだ成果を活かす市民を増やすことだと思うので、個人のイメージに限定されない表現の方がよいのではないのか。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 キャッチコピーに込めたイメージが正しく伝わるように、サブタイトルをつけ、デザインも工夫していきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。



18	将来像	「だれもが、いつでも、どこでも学び」というキーワードが、生涯学習を身近に感じさせ、行動に移しやすいと思った。 「学んだ成果を活かすことのできるまち」については、まちづくりという大きなテーマは、なかなか自分ごととして考えにくいのが、自分の学びによって自然とまちづくりに貢献できることがあると思うと、身近に感じ、やってみようと思える。同じように感じた若い世代が増えれば、どんどん生涯学習が広がり、8年後に目指す姿も達成されると思う。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 「ワタシゴトをアップデート！」の中には、暮らしている地域のことを自分ごととして捉えてその課題を考え、「ワタシ」の住むまちをアップデートすることも含まれています。キャッチコピーに込めたイメージが正しく伝わるように、サブタイトルをつけ、デザインも工夫していきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
19	将来像	将来像として2次大綱に示されていない「だれもが」の考えが、SDG'S「誰一人として取り残さない」の視点からと思われるが位置づけられたのは評価する。学ぶ主体が「だれもが」（すべての人々）とすることによりこの大綱が尊重され、重要性が増してくると感じた。 この記述は2次大綱から大きく変わった点の一つと思われるので、もう少し詳しく挿入文を入れた方がよいのではないかと。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 第3次大綱における将来像とSDGsの関わりについて記載の仕方を検討いたします。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
20	成果指標	今回パブリックコメントを行う趣旨と同様に、令和12年度末の新大綱の終期を見通し計画期間中に、市民の皆さんに見える形で、どのように市民の皆さんと一緒に進捗管理（PCCAサイクル等）していくのかを、基本構想にページを割いて、市民の皆さんに示すことも大事だと思います。（例えば基本構想の「V.」として）	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 推進計画の進捗管理について、評価方法も含めて記載するよう検討いたします。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
21	成果指標	P9の図6：まず、数値（現在）の出典記述がありません。また、中間地点の指標は定めないのでしょうか。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 成果指標の数値の出典の記載について検討いたします。また、中間地点の目標値については、8年後（令和12年度）の目標値と現在地の中間となりますが、紙面の都合上記載はしておりません。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
22	推進体制	リカレント教育や、リスキリングを進めることは、個人の有用感の醸成、社会全体における生産性の向上等の点から重要な取組であると考えます。一方で、それらが進まない理由も押さえておく必要があると思います。労働者（被雇用者）であれば、業務に関する知識やスキルのアップデートは、本来は雇用主である企業が人的投資として機会を提供すべきものと思いますが、国際的にみても日本はその部分が少ないそうです。人手不足等要因は様々あろうかと思いますが、取組を進める上で企業との連携は欠かせないと思いました。 (参考) <a href="https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/roudou/18/dl/18-1-2-1_02.pdf">https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/roudou/18/dl/18-1-2-1_02.pdf</a>	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 行政だけでなく、企業、高等教育機関、生涯学習団体、自治会・町内会、NPO等が連携した体制を整え推進していきます。特に企業への啓発には、力を入れていきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
23	推進体制	新大綱により、新たに若い世代からの「大人の学び直し」などのプロジェクトに取り組まれるにあたっては、基本構想（案）に掲げる推進体制が、新大綱に基づき、企業、高等教育機関、生涯学習団体・地域団体・NPO等のトライアングルで勝手に回りだすことを理想に連携体制の構築に努めてもらいたいと思います。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 行政だけでなく、企業、高等教育機関、生涯学習団体、自治会・町内会、NPO等が連携した体制を整え推進していきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
24	推進体制	基本構想（案）は、たいへん意欲的であり、頼もしく感じます。一方でこれまでの行政主体では難しいとも感じます。公民連携、民主導につながるスタンスで取り組んでもらいたいと思います。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 行政だけでなく、企業、高等教育機関、生涯学習団体、自治会・町内会、NPO等が連携した体制を整え推進していきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
25	推進体制	生涯学習推進の市のパートナーであり、生涯学習施設の指定管理者である静岡市文化振興財団、清水区生涯学習交流館運営協議会を何らかの形で大綱（推進体制等）に位置づけておく必要があると思います。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 生涯学習施設における指定管理者は5年ごとに更新されるものですので、現在の指定管理者を個別に位置づけることは考えておりませんが、連携を密にして、施設の運営にも大綱を反映していきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。

26	推進体制	サイクルが回るかどうか、継続することが大事だと思いますので運営体制等丁寧に構築していただきたい。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 行政だけでなく、企業、高等教育機関、生涯学習団体、自治会・町内会、NPO等が連携した体制を整え推進していきます。 また、推進計画の進捗管理について、評価方法も含めて記載するよう検討いたします。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
27	推進体制	推進主体として企業が明記されているところが良い。これまで市の生涯学習施設は営利企業というだけで使用が制限されていたが、これからはそういった規制を撤廃し、生涯学習施設を産官学が連携する場としても活用してほしい。企業の職員教育の場として利用することが可能となれば、課題となっている若年層での利用率の向上に寄与すると考えられる。また、政治や宗教による使用の制限に関しても、政治や宗教を学習することは文化人として当然であることから、これらを厳しく制限することは自由な学びの場であるべき生涯学習施設の設置趣旨に反していると思う。新大綱には、利用の足かせとなっている諸規制を緩和し、誰もが自由に利用できる生涯学習施設としていく方向性を明示して欲しい。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 行政だけでなく、企業、高等教育機関、生涯学習団体、自治会・町内会、NPO等が連携した体制を整え推進していきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
28	推進体制	「第3次大綱案」によって、学びが広がり、深まり、自分も成長し、まちづくりにつながっていくことはとても魅力的だと思います。生涯学習は、ほんの少し携わらせていただいておりますが、若い世代の方に参加していただくことは、いつも課題だと感じているので、このプロジェクトによって多くの方に広まってほしいと思います。「好きなこと」「知りたいこと」「役に立つこと」+「仕事」につながる学びには、一歩進んだ「推進体制」が重要になってくると思うので、とても期待しています。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 行政だけでなく、企業、高等教育機関、生涯学習団体、自治会・町内会、NPO等が連携した体制を整え推進していきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
29	推進体制	仕事を持っている世代は、他のいろいろなことに興味を抱いていても十分な時間の確保が出来ないでいる。今ではユーチューブなどで大抵のことを多くの人から学ぶことが可能な時代となっているが、オンライン学習・セミナーなどで手軽に講師と会話、質問もできるとすれば、個々にとって本当に知りたい知識を身に付けることができ、また違った期待が持てる。是非、実施可能な推進体制をとって実行して欲しい。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 行政だけでなく、企業、高等教育機関、生涯学習団体、自治会・町内会、NPO等が連携した体制を整え推進していきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
30	推進体制	現在は各セクション（行政・市民・企業・大学…等）がバラバラに動いている（と言うより違う方向を見ている？）ので、一緒・連携・コラボしながらまた、定めるだけではなく、実働を希望したい。 また、大学のみならず市民は高校・中学・小学校との一体化を望んでいる。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 行政だけでなく、企業、高等教育機関、生涯学習団体、自治会・町内会、NPO等が連携した体制を整え推進していきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
31	DXの推進	高齢者はまだまだオンラインに慣れてないが今後を考えると高齢者がオンラインでできるような生涯学習もいるのかな？	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 デジタル技術を活用できず、その恩恵を受けることのできない人の格差を解消するために、高齢者向けのスマホ講座などの講座実施を、リーディングプロジェクトの一環として進めていきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
32	DXの推進	D X の 推 進 高齢者向けにICT利用の学習の機会を設けているでしょうがその他の世代にも必要性はあると考えます。市町村や国の絡むSNSのアカウントやHPはあまり閲覧されないように感じています。そのため、各々がそのような公式のアカウントやHPを確認するような習慣付けできる機会などが必要なのではないでしょうか。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 ご意見を参考に、デジタルデバイドの解消事業などを通じてSNS等の定着を促していきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
33	DXの推進	D X の 推 進 eスポーツやネット配信などもこれからの学びのフィールドになるのではないかと思います。 DXなどによりこういったニーズにも対応できるようになるとよいと思います。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 幅広い世代の方に生涯学習施設を利用してもらえるよう、インターネット回線やオンライン講座用機器の設置等のデジタル技術を活用できる学習環境整備を、リーディングプロジェクトの一環として進めていきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。

34	D X の 推 進	私はパソコン教室のインストラクターとしても仕事しておりますので、どこまでご年配の方にスマホの操作のやり方、宿泊施設の予約の仕方等をご指導されるのかきになります。大勢を集めて一方的に先生が進めていく形になってしまうと思うのですが、この20年間そのやり方で「あのやり方でできた！」という方は聞いたことがありません。スマホも多種多様、アンドロイドとiPhoneで多少やり方がことなることもあります。 そこはどのようにお考えなのか知りたいです。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 ご指摘のとおり、大勢を集めて講師1人が一方的に講座を進めていく形では、一人一人の理解度や機種に対応することは困難です。そのため、受講者数ある程度絞り、複数人の講師が受講者それぞれの理解度や機種に合わせてフォローできるように努めています。 ご意見は今後の事業の参考にさせていただきます。
35	D X の 推 進	「ICT活用」の一環として、生涯学習施設にWi-Fi環境を整備することが若い世代を含めた施設の利用拡大につながるのではないのでしょうか。 生涯学習施設が災害避難所になっていることからも有用と思われる。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 幅広い世代の方に生涯学習施設を利用してもらえるよう、インターネット回線やオンライン講座用機器の設置等のデジタル技術を活用できる学習環境整備を、リーディングプロジェクトの一環として進めていきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
36	D X の 推 進	ICT技術を積極的に活用した生涯学習活動を行うことで、新たな地域社会を担う人材を養成することに賛成します。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 インターネット回線やオンライン講座用機器の設置等のデジタル技術を活用できる学習環境整備を、リーディングプロジェクトの一環として進めていきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
37	S D G s	P13の総合計画との整合：第4次総合計画の横断的な視点には、SDGSの推進が掲げられています。整合を図るものとして本基本構想にSDGSの考えを明文化しないのでしょうか。記述しないのであれば、推進計画に記述されるのでしょうか。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 ご意見を参考に、将来像の中でSDGsとの関わりについて記載いたします。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
38	施 設	オンライン形式の講座などが充実することを期待しています。 若い世代は、必ずしも身近に施設がある必要はないと思います。 施設を削減しつつ、その分の経費で、メタバース交流館などができるとうれいのです。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 幅広い層の学習ニーズに対応するために、これまでの対面式の学習だけでなく、デジタル技術を活用したオンライン形式の学習などを提供していきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
39	施 設	施設の利用について、一部の地域の人にだけ有利にせず、公平になるようにしてもらいたい。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 いただいたご意見を参考に、生涯学習施設の適正な利用に努めていきます。
40	施 設	受益者負担の観点から、交流館の貸館は有料化すべきである。交流館では趣味的な講座や運動講座が多く行われているが、それは民間のカルチャーセンターやスポーツジムを利用すればよいと思う。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 いただいたご意見を参考に、生涯学習施設の適正な利用に努めていきます。
41	施 設	そもそも、若い人が来ないといいますが、静岡市の施設の大半が古くて暗いので、若い人は利用しないのではないかと思います。 特に、子どもや小さな子どもは、古い施設は虫がでたり薄暗かったりして怖いのは？ 清水ばかり耐震が問題だとしても建て直していたら、旧静岡市の人はお金払って借りているのと思って、来なくなるのではないのでしょうか。 見直しの時も、清水の方の意見を優先している印象でしたし、そもそも、多くの方がパブリックコメントで書いているようでしたが、その意見全然反映されてませんよね。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 いただいたご意見を参考に、使いやすい施設づくりや魅力ある学習機会の提供に取り組んでいきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
42	施 設	施設を使わない人からも良いことをやっている、必要な施設だと思ってもらえるようなものにしていただければと思います。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 生涯学習施設の必要性について施設を利用しない人にもご理解いただけるように努めていきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
43	施 設	現状、生涯学習施設では、主として営利を図る目的で活動することができない。 (静岡市生涯学習施設条例第7条第4号)基本構想案において、大人の学び直しや、仕事につながる学びの促進を目標に掲げているため、今後、私塾など一定の営利活動について許可することを検討してはどうか。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 第3次大綱における基本構想を基に、今後の生涯学習施設のあり方について検討していきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。

44	施設	基本構想案に記載のとおり、若い世代の生涯学習施設利用促進が課題であると考え る。若い世代には社会人だけでなく学生も多くいるため、大人の学び直しに加え て、学び途中の学生が、将来にわたって継続的に生涯学習施設を利用するよう、生 涯学習意欲を醸成する機会の充実や生涯学習施設を含めた環境整備に期待したい。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 いただいたご意見を参考に、学生の頃から生涯にわた る学びの姿勢や習慣など、学びの基礎を身に付けるた めの学習機会を提供していきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
45	表現	P6の下段：「自治会等への参加」とありますが、「自治会への加入が厳しい」とも 読めてしまうので、もう少し具体的に「自治会等の地域行事や地域社会活動への参 加」と表現したらいかがでしょうか。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 ご指摘いただいた箇所について、正しく意味が伝わる よう表現を検討いたします。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
46	表現	誰もがわかりやすい言葉で説明していただけるとうれいす。まず、興味を持て るような表現が望ましいと思います。 学びのサイクルが幅広い年齢層がお互いを理解し、高め合うことができるように基 本理念がしっかりしているとかんがえやすいかと思ひます。 わかりやすい言葉で目で見で理解できる工夫がほしいです。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 誰もが読みやすく、分かりやすい表現に配慮し、言い 換えの難しい「リカレント教育」や「リスキリング」 のような言葉については、図などを用いて言葉の意味 が理解しやすくなるよう工夫します。 また、文章による表現だけでなく、イメージのしやす い図などを活用します。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
47	表現	「リカレント教育」や「リスキリング」といったカタカナ言葉が多く、注釈はあり ましたが一度読んだだけで理解するのは難しく感じてしまいました。誰もが読みや すく、理解しやすい言葉で書いていただけるとより良くなるのではないかと思ひ ます。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 誰もが読みやすく、分かりやすい表現に配慮し、言い 換えの難しい「リカレント教育」や「リスキリング」 のような言葉については、図などを用いて言葉の意味 が理解しやすくなるよう工夫します。 また、文章による表現だけでなく、イメージのしやす い図などを活用します。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
48	表現	マルチステージやリスキリングなど、注釈はあるが、難しい言葉が多いと思ひた。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 誰もが読みやすく、分かりやすい表現に配慮し、言い 換えの難しい「リカレント教育」や「リスキリング」 のような言葉については、図などを用いて言葉の意味 が理解しやすくなるよう工夫します。 また、文章による表現だけでなく、イメージのしやす い図などを活用します。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
49	表現	どのような学びの場を提供するのがわかると広い世代にも理解してもらえと思 ひます。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 具体的にどのような学習機会を提供していくかにつ いては、推進計画の中で記載していきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
50	表現	カタカナ言葉が多いので、内容をすぐに理解するのが難しいと感じました。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 誰もが読みやすく、分かりやすい表現に配慮し、言い 換えの難しい「リカレント教育」や「リスキリング」 のような言葉については、図などを用いて言葉の意味 が理解しやすくなるよう工夫します。 また、文章による表現だけでなく、イメージのしやす い図などを活用します。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
51	表現	幅広に理解いただくため、表現方法を分かりやすくする。（学生向け～高齢者向け 等）	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 誰もが読みやすく、分かりやすい表現に配慮し、言い 換えの難しい「リカレント教育」や「リスキリング」 のような言葉については、図などを用いて言葉の意味 が理解しやすくなるよう工夫します。 また、文章による表現だけでなく、イメージのしやす い図などを活用します。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。

52	表現	中身をもっと簡潔にする。 一人一人の目標が何か、具体的な内容を明示する。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 簡潔な記述に努めます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
53	若い世代	静岡市の生涯学習の取り組みは多種多様な講座用意されており素晴らしいと思うし、プロジェクトを時代にあったものに改定して行くことも大事だと思う。提案として、小中高生などの若者向けに、学校で習えないが知っておきたいことを学べる講座を用意してはどうか。例えばマナーレテラシーや仕事の選び方、ヘアスタイルの決め方、化粧の仕方、ファッション、恋愛相談、eスポーツ、キャンプなど、地域の同世代が興味のあるテーマを設定し、親からも勧めてもらうことで、休日はショッピングやカフェに行ったり、家でネットをしている学生が同世代と交流できる良い機会になると思うし、生活満足度も向上すると思う。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 いただいたご意見を参考に、若い世代にとって魅力的なテーマや内容の学習機会を提供していきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
54	若い世代	生涯学習とキャリアキャリアは若者だけのものではないと思う。自分が今後どうしていくかのような「キャリア」を考える学習など期待する。 子ども食堂を運営しています。高齢者の生き甲斐になっており、地域のババママや子どもをまきこんで大きな流れになっています。 生涯学習も、学校で行ったりするなどして、団塊の世代だけ、高齢者だけにならず、いろいろな世代を巻き込んでほしいです。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 ご指摘のとおり、世代・年齢で市民の属性を括ることが難しい社会になってきているので、世代を問わず、生涯にわたる学びを奨励していきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
55	若い世代	資料を読ませていただいてよく分からなかった点としては「若い世代」とは何歳当たりを指しているのか。50代以下を指しているなら広すぎるように思えますし、2~30代以下なら若い世代の参加率が少ない的な主張に円グラフを添える意味が分からない。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 「若い世代」とは相対的に若い世代であることを想定しておりましたが、世代（年齢）で市民の属性を括ることが難しい社会になってきているので、世代を使わない表現に修正いたします。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
56	若い世代	P7の中段：生涯学習施設の主な利用者の割合について記述がありますが、図5は、生涯学習団体構成員の年齢構成です。利用者には団体構成員のほか、事業など講座等へ参加する利用者もいます。また、学生や勤労者は土日など休日昼間の時間帯は利用できますが、夜間利用が大半になる傾向があり、利用時間が制限されますので、この数値のみでは、単純に若い世代の学びの場になっていないと言い切れなと思います。第4次総合計画では、生涯学習施設の利用者減少グラフが使われています。高齢者団体は減少傾向で世代を問わず減少している？利用者をいかに増加させるのかを課題と捉え、若者から高齢者まで誰もが利用しやすいソフト・ハードともに充実する必要性を記述してはどうでしょうか。まさに、マルチステージ化につながるのではないのでしょうか。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 生涯学習施設の利用者について、貸館などの利用者数に比べて講座等の受講者数は1/5~1/6となっています。また、生涯学習団体は生涯学習施設を定期的に利用することが多く、団体構成員の年齢構成は施設の利用者層の年齢構成と見ても大きくは異ならないと考え、現状と課題の1つの根拠数値としています。 ご指摘の通り生涯学習施設全体の利用者数は減少の傾向のため、世代を問わず、より多くの市民にとって使いやすい施設づくりや魅力ある学習機会の提供について記載するよう検討いたします。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
57	若い世代	若い世代の人に学びの場を提供する事はとても素晴らしい事だと思います。特に自分の住んでいる地域の事（歴史・取り組みなど）を知るという事は今の若い人達にとってこれから地域を盛り上げていくうえでとても大切な事だと思います。我家の子どもが「まちづくり 交流館の役割」というテーマでレポートを大学受験の時に提出しました。地元の交流館に行って調べましたが「今まで知らない事ばかりだった」と話してくれました。「学ぶ」はいつでも、誰でも始められる、自分をステップアップ出来るツールだと思います。若い世代から少し離れてしまいましたが、「本当の大人の学び直し」で私も頑張りたいと思います。とても良い刺激になりました！	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 世代（年齢）で市民の属性を括ることが難しい社会になってきているので、世代を問わず、生涯にわたる学びを奨励していきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
58	若い世代	生涯学習センターに若い人を引き込みたいのであれば、難しいとは思いますが著名人が来るだとか、流行のものが見られるみたいな企画をしてみてもどうでしょう？若い人はもしかしたら生涯学習センター自体に馴染みがない様な気がします。まずはそうしたことで生涯学習センターを知ってもらい、現地で「こういうことやってるんだ」ということを認識してもらおうのはどうでしょうか？	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 いただいたご意見を参考に、魅力的な学習機会の提供や、SNS等を用いた効果的な情報発信に取り組んでいきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。

59	若い世代	資料をみていて思ったのですが、生涯現役ということ、若い世代が減少しているということなのに、なぜ、若い人たちを取り込もうとしているのでしょうか。生涯現役をということであれば、高齢者に活躍してもらえよう人材を養成し、若い世代も安心してその町に住めるようにしたほうが良いと思います。 若い人が、いま、勉強に時間を費やせないのは、仕事が大変（人数を減らされていたり、時間外だったり）だから、その他の趣味に余裕がある人ばかりではないでしょうし、お金をそこにかけるなら、別のことをされる方も多くいるのでは。それは、生涯学習センターでなくてもいいと思うし、個々の自由だと思いますが。 また、高齢者が活躍してくれれば、答申にある通り、高齢者の居場所づくりになり、また、生きがいとなり、社会が住みよいものになると思います。 住みやすい街になれば、必然的に若い人が自分たちもお手伝いするようになるし、風通しのよい街になると思います。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 世代（年齢）で市民の属性を括ることが難しい社会になってきているので、世代を問わず、生涯にわたる学びを奨励していきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
60	若い世代	「若い世代」とはどのくらいの年齢を言っているのか不明である。34歳位までを言っていると創造するが、基本構想案P7の約7割が60歳以上であり若い世代の学びの場になっていません。との記入があるが、ここからは対象が若い人も含めた高齢の人までも対象と思える。もしそうならば、あえて「若い世代」という言葉でなく含めた言葉の方が生涯学習の意図に沿っているように思う。あえて「若い世代」をターゲットに「大人の学び直し」を対象にした企画を追加することで全体の生涯学習人口を増やすことを考えているとしてもリカレント教育・リスキリング等は若い年代だけの話ではないと考える。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 世代（年齢）で市民の属性を括ることが難しい社会になってきているので、世代を問わず、生涯にわたる学びを奨励していきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
61	若い世代	静岡大学、静岡県立大学、常葉大学を拠点に、多くの学生団体が存在し、若者の学外での活動も盛んである。 彼女らは、生涯学習とも汲み取れる活動を多くしているが、恐らく本人達にその意識はないし、そもそも「生涯学習」についてどこまで知っているかも定かではない。 これらの生涯学習ともとれる活動をしている若者の団体（企業もある）を把握し、生涯学習を広めると共に、産学官連携に市役所が積極的に関わり、若者の意識を高めていくことはいかがだろうか。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 ご意見を参考に、企業、高等教育機関、生涯学習団体、自治会・町内会、NPO等と連携し、生涯学習の大切さを広めていくよう取り組んでいきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
62	その他	基本構想（案）への期待の裏返しで、現在の生涯学習施設の利用主体である高齢化した利用団体の皆さんのことが心配になります。両指定管理者とともに活動の活性化等、利用団体のサポートに意を尽くしてもらいたいと思います。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 従来の学習グループ等の活動についても、引き続きサポートしていきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
63	その他	最先端の知識を持つ専門家と、新しき知識を欲する住人の懸け橋となるような取り組みであると感じた。また、学ぶだけでなくその知識を活かすところまで考えている点が魅力的だと感じた。学びたいことは常に変わると思うので、定期的にアンケート等でどの方向性の知識を知りたいと思っているか等を把握すると、ミスマッチなく学習を提供できると思いました。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 ご意見のとおり、市民の学習ニーズの把握と検証に努め、魅力ある学習機会の提供に取り組みます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
64	その他	学びとは新しい考え方やスキルとは、職業生活にかかわるものだけでしょうか？ 経験、伝承の場、そのような体験活動によっても学ぶことができるのではないかと	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 職業生活に関するものだけでなく、趣味や教養など様々な分野において新しい考え方やスキルについての学びがあります。 また、ご意見のとおり、体験をとおして学ぶことも多くありますので、そうした学習機会についても提供していきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
65	その他	質問：たとえば静岡市役所生涯学習推進課のみなさんはどんな「大人の学び直し」をされているのでしょうか？	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 静岡市役所では職員向けの研修があります。当課職員においても、こうした研修への積極的な参加をしています。 また、各職員が購入した書籍を共有できるよう本棚を設置したり、業務時間外に自主的に集まった職員で勉強会を開催することもあります。

66	その他	今の生涯学習は、お年寄りが利用して気がします。これからは、夜間に若者や発達障害、引きこもりの方などを対象とした学習をしながら、親睦を深められる長期的な教室が開催されることを希望します。 人間関係が希薄になった今こそ大切だと思います。 大人の仕事外の余暇活動、考えてもらえませんか	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 世代を問わず、幅広い層の方が生涯学習施設を利用できるように、使いやすい施設づくりや魅力ある学習機会の提供に取り組んでいきます。 また、第3次大綱では、生涯学習施設の地域の交流の場としての機能強化や、学習を通じた市民同士の交流の促進など、学びを通じた市民相互の交流を推進することを、「施策を進めるうえで大事にしたい視点」の1つとして、これまでの生涯学習施設が担っていた生きがい・居場所づくりとしての役割についても大事にしていきたいと思います。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
67	その他	大綱と基本構想：今回のパブコメは基本構想（案）に対するパブコメだと思いますが、大綱も示されているため、大綱に記述は具体性があるが、基本構想には記述がないなどどう整理すればいいのか考えてしまいます。施策体系図など具体的な内容は基本構想（推進計画）に定めるといっていいのでしょうか。また、それは後日パブコメをするのでしょうか。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 推進計画部分については今回のパブリックコメントでの意見を受けて作成していきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
68	その他	静岡市の講座情報を探すのに、どこを見ればよいかわからない場合がありますので、積極的な情報発信をよろしくお願いいたします。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 膨大な量の情報が溢れる現代社会において、生涯学習を始めようとした市民が必要な情報を得られるよう、SNS等も活用しながら、学びに関する情報を効果的に発信していきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
69	その他	基本構想はとても良いと思いますが、一人親家族の親で学びたいと思う人のために考えてほしい。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 だれもが生涯学習施設を利用できるように、使いやすい施設づくりや魅力と利便性のある学習機会の提供に取り組んでいきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
70	その他	意見を取り入れてくれないなら、意見を求めないでください。 誤字があります。他社は、他者の間違いだと思えます。あえての会社という意味でしょうか。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 いただいたご意見は一つ一つ検討のうえで第3次大綱に反映させていただきます。 ご指摘いただいた誤字については修正いたします。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
71	その他	※忙しい方にはコチラ↓ 大綱案のすべてがわかる解説付きです♪ \10分でわかる！／第3次静岡市生涯学習推進大綱案（PDF形式：564KB） ↑これを10分で理解する人は生涯学習をする必要がないかも	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 第3次大綱をわかりやすく説明できるように、概要版を作成いたします。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
72	その他	行動様式の多様化、変化が刻々と進んでいるので、推進計画を短中長期に分けるとともに、行動様式に対応すべく改定すべきである。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 第3次大綱については4年後、前期推進計画期間終了時に中間見直しを行います。社会情勢等に合わせて必要な箇所を改訂いたします。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。
73	その他	限られた住民だけでなく、幅広く周知するため年代別等に対応した手段を講じることを希望する。	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 膨大な量の情報が溢れる現代社会において、生涯学習を始めようとした市民が必要な情報を得られるよう、SNS等も活用しながら、学びに関する情報を効果的に発信していきます。 ご意見は第3次大綱策定の参考にさせていただきます。